

秋田県埋蔵文化財センター年報 4

昭和60年度

1986・3

秋田県埋蔵文化財センター

序

毎年、日本各地で行われている発掘調査に基づく考古学的成果は、これまで明らかでなかった歴史上の事実を現代人の前に鮮明によみがえらせてくれます。特に先史～古代史に関わる発見には、ひとり歴史学の範囲のみにとどまらず、美術・工芸や民俗学の分野からも注目される場合があります、それらは現代に生きる私達の知識を豊かなものにしてくれます。

このような新事実の発見は、発掘調査も含めた地道な埋蔵文化財の保護・保存活動によって達成されています。

当埋蔵文化財センターが昭和56年に設置されてから今年度までに実施した発掘調査は、昭和56年22件、57年23件、58年41件、59年42件、60年24件という数を数えます。5年目にあたる今年度実施した発掘調査には、蝦夷塚古墳群、カウヤ遺跡、上の山Ⅱ遺跡など、古代史上その生活環境の側面を知る手掛りとなる調査が多く、その成果には大きなものがあります。地域的には、能代・秋田・本荘と海岸線に連なる地域での調査が多く実施され、広く日本海沿岸の文化交流というテーマも考えられるようになりました。

さらに東北横断自動車道秋田線の調査が秋田側から開始され、今年度は一昨年来調査されてきた河辺町七曲地区が調査対象となりました。今年度の調査も含めて三年間の調査は、岩見川流域に形成された段丘が、旧石器時代～古代にわたってどのように利用され変遷を重ねてきたかを明らかにしています。東北横断自動車道秋田線の調査は今後秋田県の内陸部へと進み、その地域での先史時代からの生活の様子が解明されることが期待されます。

本年度の調査成果をここにまとめるにあたり、御援助いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、今後ともより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます次第です。

昭和61年 3 月 31 日

秋田県埋蔵文化財センター

所 長 齊 藤 養 治 郎

例 言

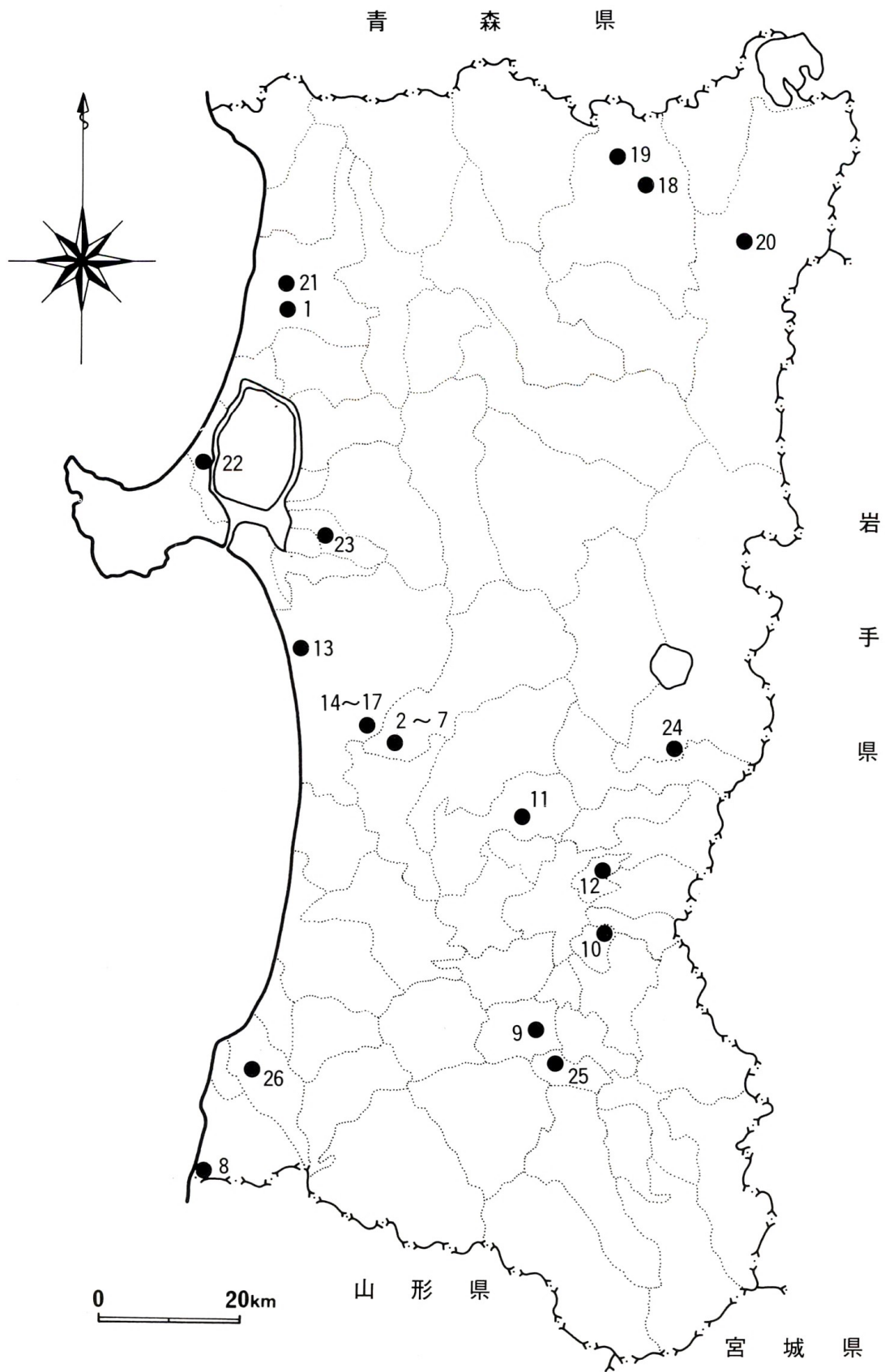
- 1、本書は昭和60年度における秋田県埋蔵文化財センターの事業内容をまとめたものである。
- 2、本書の編集は研究部が行った。
- 3、調査概要は各発掘調査担当者が執筆した。

目 次

序	1
例言	2
1、県内調査遺跡一覧	3
2、調査概要	5
3、研修事業	10
①昭和60年度秋田県埋蔵文化財センター研修会	10
②昭和60年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会	10
秋田県埋蔵文化財センター職員録	14

1、県内調査遺跡一覧

番号	遺 跡 名	調 査 期 間	所在地	発掘面積	時 代	原 因	調査主体
1	上 の 山 II	昭和60年8月1日 ～10月31日	能 代 市	4,720㎡	縄文時代後期 平安時代	国 営 能 代 開 拓 建 設 事 業	秋田県 教育委員会
2	石 坂 台 IV	昭和60年5月22日 ～6月30日	河 辺 町	1,774㎡	縄文時代 近世～近代	東北横断自動車道 秋田線建設工事	〃
3	石 坂 台 VI	昭和60年5月22日 ～6月24日	河 辺 町	1,875㎡	縄文時代後期・晩期	〃	〃
4	石 坂 台 VII	昭和60年6月19日 ～9月5日	河 辺 町	3,867㎡	縄文時代後期・晩期 近世～近代	〃	〃
5	石 坂 台 VIII	昭和60年6月25日 ～11月1日	河 辺 町	6,487㎡	縄文時代中期～晩期 弥生時代・近代	〃	〃
6	石 坂 台 IX	昭和60年9月2日 ～11月9日	河 辺 町	4,714㎡	縄文時代中期・後期	〃	〃
7	松 木 台 III	昭和60年6月25日 ～11月22日	河 辺 町	8,000㎡	旧石器時代 縄文時代 平安時代	〃	〃
8	カ ウ ヤ	昭和60年7月4日 ～8月23日	象 潟 町	1,623㎡	縄文時代中期 平安時代	国 道 バ イ パ ス 建 設 工 事	〃
9	蝦夷塚古墳群	昭和60年9月2日 ～10月15日	雄物川町	1,400㎡	奈良時代	〃	〃
10	石 名 館	昭和60年10月24日 ～11月7日 昭和61年1月20日 ～2月4日	仙 南 村	491㎡	縄文時代後期・晩期 平安時代	仙 北 平 野 農 業 水 利 事 業	〃
11	上 雨 堤	昭和60年11月8日 ～12月7日	西仙北町	1,640㎡	平安時代	県 道 改 良 工 事	〃
12	弘 田 柵 跡	昭和60年4月1日 ～11月20日	仙 北 町 千 畑 町	1,884㎡	平安時代	学 術 調 査	〃
13	秋 田 城 跡	昭和60年4月8日 ～12月18日	秋 田 市	2,168㎡	平安時代	学 術 調 査	秋田市 教育委員会
14	地 蔵 田 B	昭和60年4月11日 ～12月10日	秋 田 市	1,200㎡	旧石器時代 縄文時代中期～晩期 弥生時代	新 都 市 開 発	〃
15	台 A	昭和60年4月11日 ～4月30日	秋 田 市	2,000㎡	縄文時代中期	〃	〃
16	湯 ノ 沢 F	昭和60年5月17日 ～6月17日	秋 田 市	4,400㎡	弥生時代 平安時代	〃	〃
17	湯 ノ 沢 I	昭和60年4月22日 ～5月17日	秋 田 市	1,000㎡	弥生時代	〃	〃
18	玉 林 寺	昭和60年4月22日 ～5月11日	大 館 市	350㎡	縄文時代中期・中世	林 道 開 設	大館市 教育委員会
19	矢 立 廃 寺 跡	昭和60年8月28日 ～10月24日	大 館 市	764㎡	中 世	史 跡 公 園 整 備	〃
20	大湯環状列石周辺	昭和60年5月7日 ～9月18日	鹿 角 市	1,870㎡	縄文時代後期	環 境 整 備	鹿角市 教育委員会
21	金 山 チ ャ シ	昭和60年5月20日 ～9月4日	能 代 市	3,621㎡	縄文時代前期 中 世	公 園 整 備	能代市 教育委員会
22	堂 ノ 沢	昭和60年7月2日 ～7月18日	若 美 町	948㎡	縄文時代前期・中期	土 取 工 事	若美町 教育委員会
23	大 野 地	昭和60年5月23日 ～7月31日	井 川 町	480㎡	縄文時代前期	土 取 工 事	井川町 教育委員会
24	黒 倉 B	昭和60年5月20日 ～7月10日	田 沢 湖 町	320㎡	縄文時代中期	町 道 改 良 工 事	田沢湖町 教育委員会
25	大久保(杉ノ宮)	昭和60年4月15日 ～6月28日	羽 後 町	1,252㎡	縄文時代前期・中期 古 代	工場用地造成工事	羽後町 教育委員会
26	下 岩 ノ 沢	昭和60年5月7日 ～6月7日	仁 賀 保 町	1,527㎡	縄文時代 平安時代	土 取 工 事	仁賀保町 教育委員会



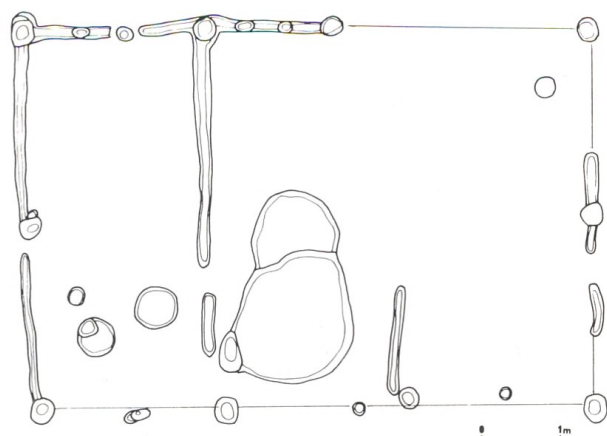
昭和60年度県内調査遺跡位置図

※地図中番号は一覧表番号と対応

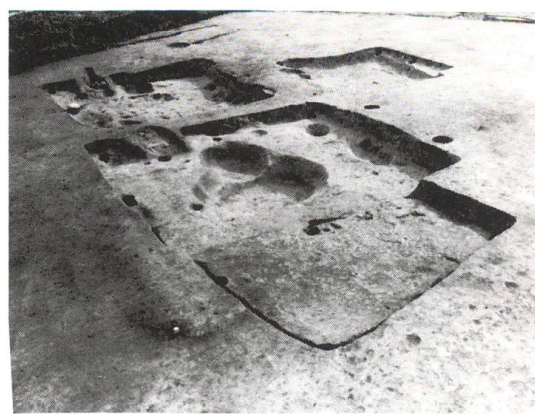
2、調 査 概 要

遺 跡 名：土の山Ⅱ遺跡	所 在 地：能代市浅内字上ノ山35
事 業 名：国営能代開拓建設事業に伴う事前調査	事業関係機関：東北農政局能代開拓建設事業所
調査期間：昭和60年 8 月 1 日～10月31日	調査面積： 4,270㎡
担 当 者：熊谷太郎・児玉 準	時 期：縄文時代後期・平安時代

平安時代の竪穴住居跡19軒、掘立柱建物跡 9 棟、土壙44基を検出した。竪穴住居跡は昭和58年度に調査したものを加えて39軒という数にのぼる。また、今回の調査で新たに柱穴間に溝を掘った掘立柱建物跡が9棟見つかった。竪穴住居跡との関連で注意される。遺物としては平安時代の土師器、須恵器の他、縄文時代後期の埋設土器も見ついている。



「布掘り」をもつ掘立柱建物跡



竪穴住居跡

遺 跡 名：石坂台Ⅷ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台168-3他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60年 6 月25日～11月 1 日	調査面積： 6,487㎡
担 当 者：大野憲司・(高橋 学)	時 期：縄文時代中期～晩期・弥生時代・近代

石坂台Ⅷ遺跡の大きな沢を隔てた南側に位置する。遺構は台地北西縁辺部と南側の沢にはさまれた舌状台地先端部に集中している。縄文時代の竪穴住居跡 2 軒、うち 1 軒からは中期末（大木10式）の埋設土器を有する複式炉が検出されている。土壙80基は、出土遺物が少いものの、晩期に属するものが多いと考えられる。近代の遺構として、秋田県の吉田頼秋が在来の白炭窯を改良して作った「吉田窯」と称される炭窯1基を検出。



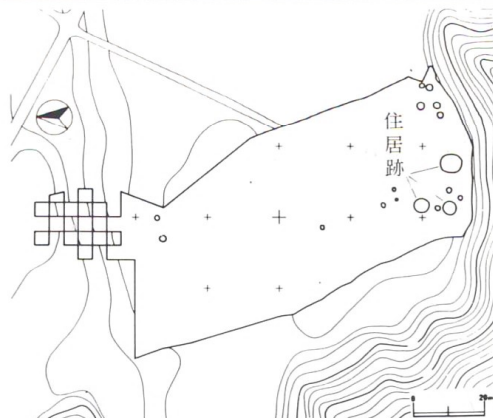
縄文時代フラスコ状土壙断面



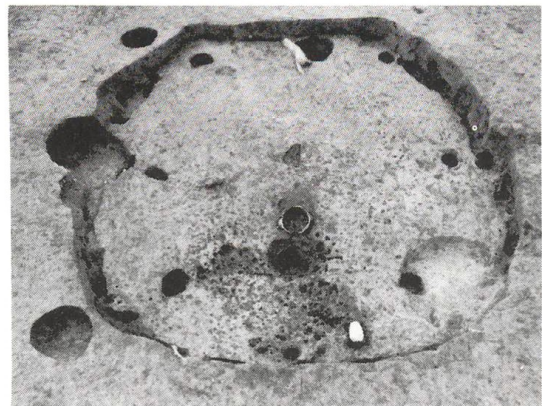
炭 窯

遺 跡 名：石坂谷Ⅸ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台276他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60月9月2日～11月9日	調査面積：4,714㎡
担 当 者：谷地 薫・小林 克	時 期：縄文時代中期・後期

標高40m 程の台地の南縁から、縄文時代中期末の住居跡3棟と土壇11基を検出する。住居跡内からは縄文時代中期末大木9式～大木10式の埋設土器が炉に使用された状態で出土している。土壇にはフラスコ状を呈する貯蔵穴と思われるものがあり、内部から多量の炭化した栗を出土している。また、底面が焼けて、赤褐色に焼土化した土壇もある。



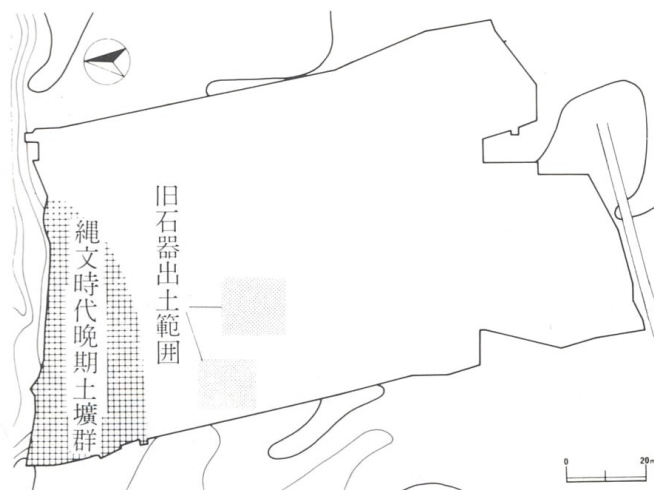
発掘調査区と周辺地形



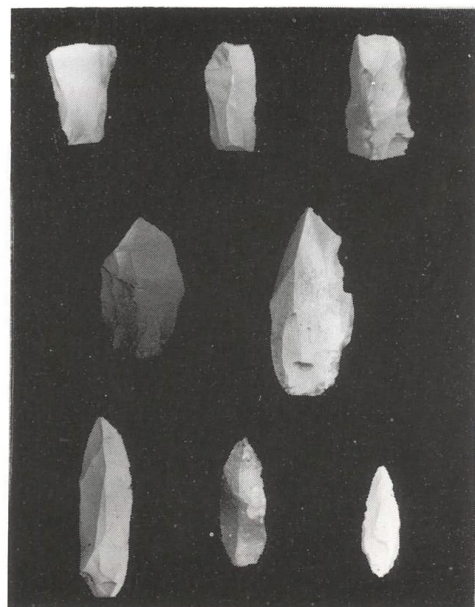
竪穴住居跡

遺 跡 名：松木谷Ⅲ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字松木台57他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60年6月25日～11月22日	調査面積：8,000㎡
担 当 者：高橋忠彦・(利部 修)	時 期：旧石器時代・縄文時代中期～晩期・平安時代

本遺跡は標高約40mの河岸段丘上にあり、旧石器3,168点の他、縄文・平安時代の遺構172基を検出している。旧石器はコア、ナイフ、ブレイド、スクレイパーなど、縄文時代中期末の竪穴住居跡3軒の他、晩期の配石・焼土遺構を伴う土壇群99基、中期Tピット15基を検出し、それに伴う土器・石器も多数出土している。平安時代の遺構・遺物としては竪穴住居跡1棟、須恵器・土師器・鉄滓を伴う土壇群を検出している。



発掘調査区と周辺地形



旧石器

遺 跡 名：石坂台Ⅳ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台271他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60年 5 月22日～ 6 月30日	調査面積： 1,774㎡
担 当 者：大野憲司・(高橋 学)	時 期：縄文時代・近世～近代

石坂台Ⅳ遺跡は、標高約61mの台地上に位置する。縄文時代の土壙13基、Tピット1基、焼土遺構1基、近世～近代と思われる炭窯3基を検出した。土壙のうち3基は径1～1.5m 平面形が円形を呈するもので、深さ1～1.3mの底面中央に1個のピットを有する。いわゆる「陥し穴」と考えられる。炭窯は長さ10m、幅 1.3m 程の長円形を呈し、比較的新しい時代の構築と考えられている。

遺 跡 名：石坂台Ⅵ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台233他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60年 5 月22日～ 6 月24日	調査面積： 1,875㎡
担 当 者：谷地 薫・小林 克	時 期：縄文時代後期・晩期

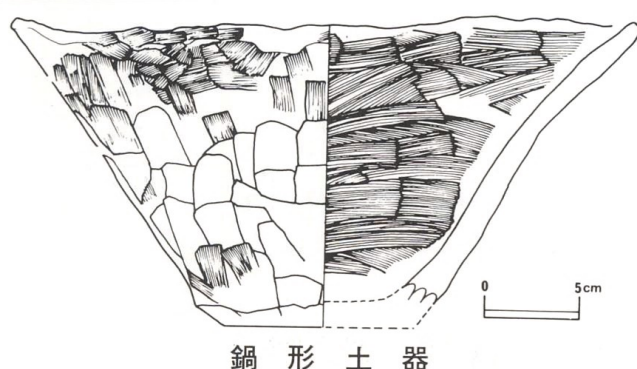
標高約60mの台地上から土壙4基、縄文時代晩期の土器片および扁平な打製石斧を検出した。

遺 跡 名：石坂台Ⅶ遺跡	所 在 地：河辺郡河辺町戸島字七曲石坂台214他
事 業 名：東北横断自動車道秋田線建設工事	事業関係機関：日本道路公団秋田工事事務所
調査期間：昭和60年 6 月19日～ 9 月 5 日	調査面積： 3,867㎡
担 当 者：谷地 薫・小林 克	時 期：縄文時代後期・晩期・近世～近代

標高55～65mの台地から縄文時代後期の土壙13基、近世～近代の炭焼遺構2基が検出された。土壙の形態は袋状に近いものと、開口部から頸部までがせまく、底部で大きくふくらむものがある。これらの土壙は数基ずつのまとまりをもって、台地の東縁および西縁に集中する。台地中央部よりの倒木痕から大洞B C式の浅鉢形土器が出土した。炭窯は長さ10.5m、幅 1.2mのプランで炭の破片が詰っている。

遺 跡 名：カウヤ遺跡	所 在 地：由利郡象潟町小砂川字カウヤ58-3
事 業 名：一般国道7号小砂川局改計画路線に伴う事前調査	事業関係機関：東北地方建設局秋田工事事務所
調査期間：昭和60年 7 月 4 日～ 8 月23日	調査面積： 1,623㎡
担 当 者：柴田陽一郎・栗沢光男	時 期：縄文時代中期・平安時代

日本海沿岸に面した製塩遺跡の調査。竪穴住居跡1軒、土壙1基、道路状遺構1条、炉跡1基を検出。炉跡からは埋設された円筒形の土製支脚を検出。また、炉跡の東側30mからは、製塩に関係した鼓状土製支脚を出土している。他に鉄釘・鉄滓等も見つかっている。また、縄文時代中期の土器片も出土している。



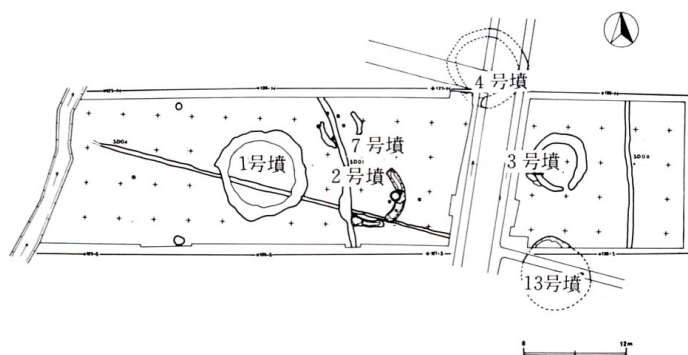
鍋形土器



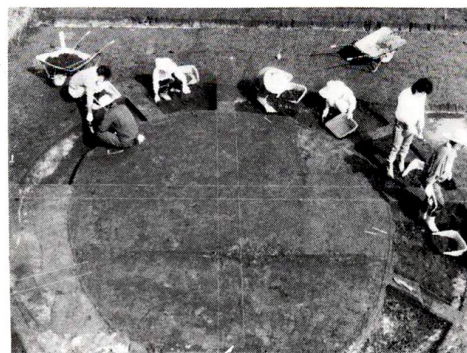
石組炉

遺 跡 名： ^{えびづか} 蝦夷塚古墳群	所 在 地：平鹿郡雄物川町造山字蝦夷塚51
事 業 名：一般国道107号改良工事に伴う事前調査	事業関係機関：秋田県土木部平鹿土木事務所
調査期間：昭和60年 9 月 2 日～10月15日	調査面積： 1,400m ²
担 当 者：柴田陽一郎・栗沢光男	時 期：奈良時代

昭和58年度に行った範囲確認調査で5基の古墳を検出している。今回の本調査で1基の古墳が追加され、合計6基の古墳を調査した。古墳の規模は径4～10mをはかる。1号墳の周堀からは、土師器杯・甕・須恵器壺等を出土した。また、2号墳の周堀底から底部を穿孔した内面黒色処理を施した、ロクロを使用しない土師器坏が出土しており8世紀代の年代が考えられる。



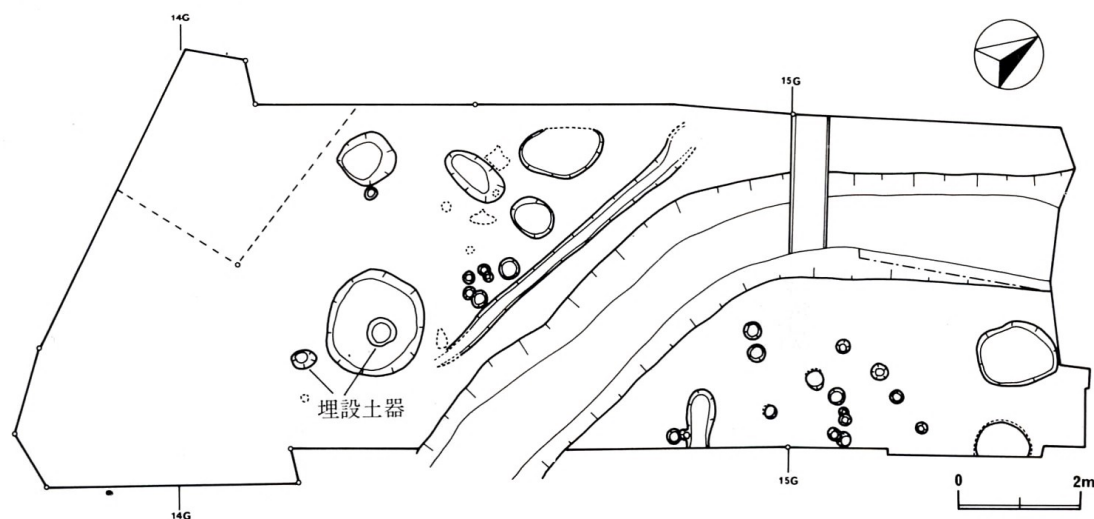
遺構配置図



第3号墳

遺 跡 名： ^{いしなをく} 石名館遺跡	所 在 地：仙北郡仙南村南町字石名館57-8
事 業 名：仙北平野農業水利事業に伴う事前調査	事業関係機関：東北農政局仙北平野農業水利事業所
調査期間：昭和60年10月24日～11月 7 日 昭和61年 1 月20日～ 2 月 4 日	調査面積： 491m ²
担 当 者：柴田陽一郎・栗沢光男	時 期：縄文時代後期・晩期・平安時代

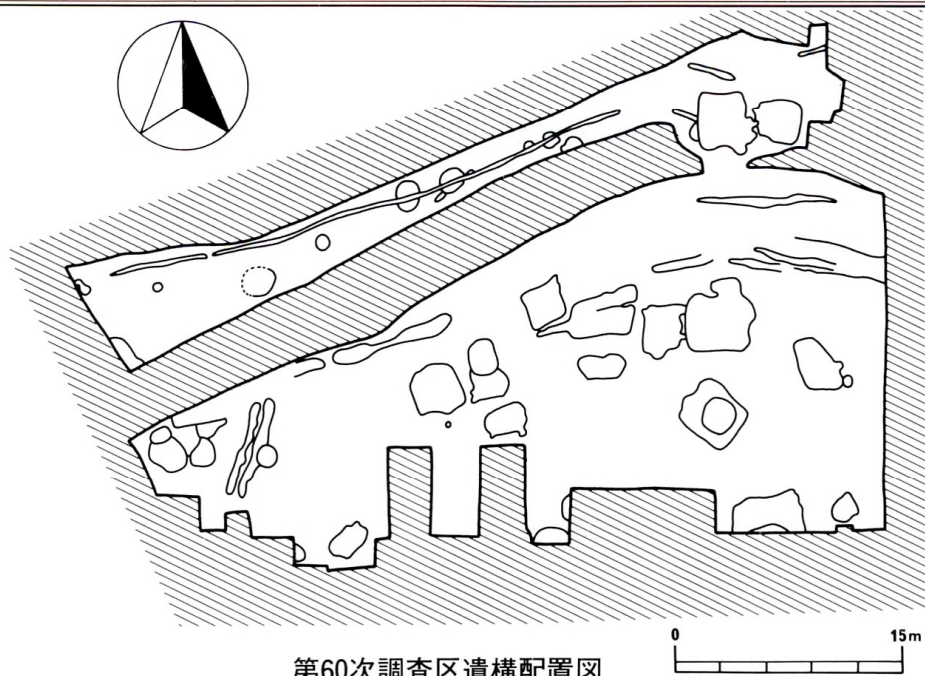
六郷扇状地の西端に位置する遺跡の調査。縄文時代晩期の埋設土器2基、土城20基を検出した。埋設土器は深鉢形の粗製土器で、他に注口土器・台付土器なども出土している。石器では、石匙・石剣・石槍の他、扁平な鍬形の打製石斧も出土している。また、平安時代の遺物としては、土師器坏・須恵器甕が出土しており、これからは他所から本遺跡に流入したものである。



遺 構 配 置 図

遺 跡 名： ^{ほったのさく} 弘田柵跡	所 在 地：仙北郡仙北町弘田
事 業 名：弘田柵跡学術調査	事業関係機関：弘田柵跡調査事務所
調査期間：昭和60年 4 月 1 日～11月30日	調査面積： 1,884㎡
担 当 者：船木義勝・山崎文幸	時 期：平安時代

第60～64次の計 5 地区の発掘調査を実施した。第60次調査では政庁北側の斜面を調査し、竪穴住居跡 9 軒、溝状遺構10基、土壇25基、道路状遺構などの計53遺構を検出した。第61次発掘調査では内郭線北東部を調査し、築地 1、掘立柱建物 4 棟、柱列 5、溝状遺構 2 条、土壇 2 基等の計16遺構を検出した。内郭線構造物である築地が南へ曲ったことが特筆される。第62次調査では花粉分析を実施した。第63次調査では外郭線の位置を確認できた。



第60次調査区遺構配置図

遺 跡 名： ^{かみあまつつみ} 上雨堤遺跡	所 在 地：仙北郡西仙北町土川字上雨堤
事 業 名：県道 本荘・西仙北・角館線改良工事	事業関係機関：秋田県土木部仙北土木事務所
調査期間：昭和60年11月 8 日～12月 7 日	調査面積： 1,640㎡
担 当 者：熊谷太郎・児玉 準	時 期：平安時代

遺跡は標高33mの低平な砂礫段丘上にあり、土買川まで 400m ほど離れている。平安時代の掘立柱建物跡 2、柱列 1、土壇 5 が検出され、土師器坏・甕、鉄製刀子、砥石などの遺物が出土した。

遺 跡 名： ^{くろくら} 黒倉 B	所 在 地：仙北郡田沢湖町卒田字黒倉254-2
事 業 名：町道抱返線改良工事に伴う事前調査	事業関係機関：田沢湖町教育委員会
調査期間：昭和60年 5 月20日～ 7 月10日	調査面積： 320㎡
担 当 者：児玉 準・栗沢光男	時 期：縄文時代中期

縄文時代中期大木 7 の式～大木 9 式期の住居跡に付設された12基の炉跡を検出。炉の形態別では、石囲炉、石組をもつ土器埋設炉、石組をもたない土器埋設炉の三種類が確かめられた。遺物では、大木 7 a ～10式の土器に加えて、円筒上層 a、b 式、北陸系の中期の土器が出土している。他に石鏃、半円状扁平打製石器などの石器類、円盤状土製品、塊状耳飾、土偶、土盤なども出土している。

3. 研 修 事 業

①昭和60年度秋田県埋蔵文化財センター研修会

I) 日時 昭和60年11月14日(木)、15日(金)

II) 会場 秋田県埋蔵文化財センター第1 研修室、第2 整理室

III) 参加者 市町村文化財関係職員

IV) 内容 研修テーマ『秋田県の珠洲系陶器』

第1日

- a、「珠洲系陶器を理解するにあたって」……………高橋 忠彦
- b、「秋田県内の珠洲系陶器」……………熊谷 太郎・栗沢 光男
- c、「秋田県内の中世窯跡」…小松 正夫（秋田市教育委員会文化財保護主査）
- d、「珠洲系陶器の実見」

第2日

- a、講演「珠洲系陶器の歴史的展開」……………国立歴史民俗博物館考古研究部

教授 吉岡 康暢

- b、質問・自由討議

②昭和60年度秋田県埋蔵文化財発掘調査報告会

I) 日時 昭和61年3月16日(日) 午前10時～午後3時30分

II) 主催 秋田県教育委員会

III) 会場 秋田県生涯教育センター 3階講堂

IV) 対象 中学生以上の一般県民

V) 報告遺跡

〈県関係〉

東北横断自動車道関係	松木台Ⅲ遺跡……………高橋 忠彦
国道107号改良関係	蝦夷塚古墳群……………栗沢 光男
国道7号改良関係	カウヤ遺跡……………柴田陽一郎
国営能代開拓建設関係	上の山Ⅱ遺跡……………児玉 準
学術調査	払田柵跡……………船木 義勝

〈市町村関係〉

学術調査	秋田城跡……………小松 正夫
秋田市臨空港新都市開発関係	地藏田B遺跡……………安田 忠市
〃	湯ノ沢F遺跡……………石郷岡誠一



上; 吉岡康暢氏による講演

下; 小松正夫氏による研究発表



上; 能代市武田孝義氏による事例発表

下; 吉岡康暢氏を囲んで珠洲系陶器の実見



上：報告会での発表

下：展示品の見学

秋田県埋蔵文化財センター職員録

(昭和61年3月現在)

所	長	齋藤	養治郎
副	所 長	岩見	誠 夫
主	査	加藤	進
主	事	佐藤	健
学 芸	主 事	船木	義 勝
社会教育	主事	大野	憲 司
社会教育	主事	熊谷	太 郎
学 芸	主 事	谷地	薫
文化財	主 事	桜田	隆
文化財	主 事	柴田	陽一郎
文化財	主 事	児玉	準
文化財	主 事	高橋	忠 彦
文化財	主 事	栗沢	光 男
文化財	主 事	小林	克
主	事	山崎	文 幸(仙北町教育委員会派遣職員)
非常勤職員		田村	政 也

(講 師 利 部 修)
(講 師 高 橋 学)

秋田県埋蔵文化財センター年報 4
(昭和60年度)

昭和61年 3 月31日発行

発 行

秋田県埋蔵文化財センター

秋田県仙北郡仙北町弘田字牛嶋20番地

電話 0187-69-3331

印 刷

仙 北 印 刷 所

秋田県大曲市栄町10番地23号

電話 0187-63-2121